

令和 7 年度	1 年理科	観点別学習状況	評価の観点	観点番号
		知識・技能		1
		思考・判断・表現		2
		主体的に学習に取り組む態度		3

年間指導計画及び具体的な評価の方法

月	指 導 事 項 区 分		配 当 時 間	指導内容 主な評価規準	観 点 番 号	具体的な評価の方法
	単元	節				
4 月	いろいろな生物とその共通点	生物の観察と分類のしかた 植物の分類	10	・生物の観察を行い、ルーペや双眼実態顕微鏡などの操作と、観察記録の仕方などの技能を身に付けている。 ・観察、実験などを通して、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。 ・観察記録にもとづいて、共通点と相違点を見だし、植物の体の基本的なつくりを理解している。 ・葉や根のようすを観察し、結果を表などにまとめて記録することができる。 ・植物の分類の仕方に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 1 1 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
4 ・ 5 月	いろいろな生物とその共通点	動物の分類	11	・動物が背骨の有無によって脊椎動物と無脊椎動物に分類できること及び脊椎動物は5つの仲間に分類できることを、理解している。 ・学習した、動物のなかまごとの特徴を手掛かりに、種類のわからない動物がどのなかまに分類できるかを推論することができる。 ・動物の分類の仕方に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
5 ・ 6 月	身のまわりの物質	身のまわりの物質とその性質 気体と性質	14	・身の回りの物質の性質を様々な方法で調べる実験を行い、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見出だして理解するとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けている。 ・白い粉末の区別することについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。 ・白い粉末の区別することについて、進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付けている。 ・習得した知識・技能を活用して、未知の気体を区別する実験を計画し、課題を解決しようとする。 ・未知の気体の区別について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 3 1 2 3	ワークシート 実験観察レポート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
6 ・ 7 月	身のまわりの物質	水溶液の性質	8	・水に物質が溶けているようすを粒子のモデルで考えることができる。 ・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解している。 ・一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのかという問題について進んで関わり、見通しをもつなど、科学的に探究しようとしている。	2 1 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト

8 ・ 9 月	身のまわりの物質	物質の姿と状態変化	8	・状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことを見いだし、粒子のモデルを用いて適切に表現することができる。 ・沸点の測定の実験を、正しく安全に行うことができる。 ・混合物の分離について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	2 1 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
9 ・ 1 0 月	身のまわりの現象	光の世界	10	・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解している。 ・凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と像のでき方との関係を見いだして理解している。 ・光の反射や屈折について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 ・光の反射や屈折の現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 1 2 3	ワークシート 実験レポート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
1 1 ・ 1 2 月	身のまわりの現象	音の世界	7	・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解すること。 ・音について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、音の性質の規則性や関係性を見いだして表現している。 ・音に関する現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
1 ・ 2 ・ 3 月	身のまわりの現象	力の世界	11	・物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを理解している。 ・物体に働く2力についての実験を行い、力がつり合うときの条件を見いだして理解している。 ・力の働きについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。 ・力の働きについて進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 1 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト

4 月 ～ 6 月	大地の変化	火をふく大地	9	・火山にかかわる内容について、観察・実験を行い、マグマの性質と火山の形の関係や火成岩の特徴などを理解している。 ・火成岩の観察を通して、鉱物のようすなどを比較して、火成岩の特徴を見いだして表現している。 ・マグマの性質と火山の形の関係について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、マグマの性質と火山の形の関係を見いだして表現している。 ・火山にかかわる内容について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	2 1 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
-----------------------	-------	--------	---	---	--------------------------	---

7月～10月	大地の変化	動き続ける大地	9	・露頭の写真や地層に含まれる岩石を見て、昔、どのような大地の変化があったかまたどのような環境にあったか推測できる。 ・地震のゆれははじめの特徴に関する実習を行い、ゆれがはじまるまでの時間は、震央を中心に同心円状に広がっていくことを理解するとともに、地震が発生したとき、その地点の初期微動継続時間をもとに、およその震源距離を知ることができることを理解している。 ・大地のゆれが始まるまでの時間について、場所によるちがいをもとに大地がゆれるときの規則性を考えたり、ゆれが伝わる範囲や震度のちがいについて考え表現できている。 ・大地のゆれについて進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト
11月～1月	大地の変化	地層から読み取る大地の変化	8	・地層にかかわる内容について、観察・実験を行い、地層のでき方や地層に含まれる堆積岩、化石からわかる過去の環境や時代について理解している。 ・地層のでき方や堆積岩、化石について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の特徴や堆積岩の特徴を見だして表現している。 ・地層の特徴から、地層の広がりを捉えたり、地層が形成された過程を推測したりすることができる。 ・地層にかかわる内容について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	1 2 2 3	ワークシート 授業観察 (実験への取り組みなど) 単元テスト